



アラスカ大学アンカレジ校



アラスカ大学の概要説明を受ける訪問団。



議会関係者の会談では議会のしくみの違いなどさまざまな質疑が出されました。



教育関係者の会談では、学校間交流などについて意見を交換しました。



心のこもったホームパーティ形式の送別会。

大学の視察後、市議会関係者と教育関係者は、アンカレジ市の担当者それぞれ会談を行いました。

市議会議員など市議会関係者の会談では、両市の議会の組織や運営方法について熱心な意見交換が行われました。

議会・教育関係者会談

28日午前、訪問団はアラスカ大学アンカレジ校を視察し、マイク・ドリスコル副理事長や原田言語学部教授などから大学施設の概要について説明を受けました。

意見交換では、今回の訪問をきっかけに、千歳の大学と交換留学をはじめとする交流事業の展開を望む声が上がっていました。

アラスカ大学アンカレジ校視察

返礼夕食会

教育長など教育関係者の会談では、アンカレジ市が進めている日本語などの英語以外の第2言語を使った授業を幼稚園から高校まで一貫して行う取組の説明が行われました。

また、現在行っている小学校間の交流に加えて、中学校間の交流事業を今後進めることで合意しました。

28日夕方、滞在期間中の温かいおもてなしに返礼するため、千歳市長が主催して夕食会を行いました。

夕食会では、40年前の姉妹都市提携にご尽力されたアンカレジ市のジョージ・サリバン氏、ジム・ワナメーカー氏、ケン・スミス氏、アンカレジ市名誉市民である千歳市の真鍋辰夫氏に

送別会

山口市長が感謝状を贈呈し、これまでの功績を称えました。

アンカレジ滞在の最終日を翌日に控え、29日夕方、ミスアラスカ協会のフォルク会長宅で訪問団の送別会が行われました。

送別会には、記念事業の一環として行ったアンカレジ・千歳姉妹都市ユースサミットに参加した両市の11人の学生が加わりました。学生の代表がサミット宣言を行い、宣言書を両市長に渡して、将来の交流の促進と地球温暖化防止を誓いました。

送別会は、アメリカ流のホームパーティ形式で行われ、訪問団はアンカレジ最後の交流を心ゆくまで楽しみました。



姉妹都市ユースサミット宣言を行う両市の学生。



返礼夕食会で功労者に感謝状を贈呈しました。